

脱色アスファルトを使用しないカラー舗装仕上げの工法案内



舗装作業の様子



←施工前

施工後→

骨材本来の風合いを 生かしたカラー舗装

超高圧水(245Mpa)を使用したアスファルト舗装の表面処理、その他研掃工への利用技術です。アスファルトカラー舗装の1例として、バインダーを脱色アスファルト、骨材は玉砂利等を使用したカラー舗装を多く見かけます。この舗装の施工には合材生産プラントや、施工現場で多くの困難、問題が秘められています。これを解消するのがアクアサーフェス工法を利用した事例のひとつです。今までの脱色バインダーに変えて通常のバインダーを使用して通常の通りアスファルト舗装を施工します。施工後超高圧水で表面処理するだけで、骨材本来

の色が出たカラー舗装の出来上がりです。骨材を露出しますのでヒートアイランド現象の防止にもなります。超高圧水を利用した用途は広がっています。用途例(ラインの消去、舗装切削後の床版防水シートの除去、プール等の塗膜除去、古いコンクリート表面の研掃、船舶、タンク等の塗膜鏝除去、競輪場の塗膜のみの除去、ウレタン舗装のウレタンのみの除去)以上のような用途にも使用可能です。(その他用途については直接当社までご確認ください。)

●詳しい工法、内容についてはインターネットで!
弊社ホームページ、または国土交通省新技術情報(NETIS)のホームページ内にある、アクアサーフェス(登録番号KK-050090)を御確認下さい。

当社は皆様が安心、安全に通行できることを願っております。